

## 第2回岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

- 1 日 時 令和5年2月28日（火）14時～15時
- 2 方 法 オンライン（ZOOM）
- 3 出席者 委員9名、事務局3名

	所属	役職	氏名	役割	備考
1	岐阜県総合医療センター	腎臓内科部長	村田 一知朗	日本腎臓病協会 慢性腎臓病対策部会岐阜代表	web
2	岐阜県医師会	常務理事	平野 良尚	岐阜県医師会	欠席
3	岐阜県医師会	常務理事	西野 好則	岐阜県医師会	欠席
4	岐阜大学医学部附属病院	腎臓内科臨床講師	吉田 学郎	腎臓病専門医	web
5	岐阜市民病院	腎臓内科部長	高橋 浩毅	腎臓病専門医	欠席
6	大垣市民病院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	幹事	傍島 裕司	腎臓病専門医 糖尿病専門医	web
7	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	副会長	矢部 大介	糖尿病専門医	欠席
8	岐阜県薬剤師会	常務理事	井深 宏和	岐阜県薬剤師会代表	web
9	中濃厚生病院	透析看護認定看護師	廣瀬 恭子	病院看護師代表	web
10	全国健康保険協会岐阜支部	保健師	作倉 かおり	医療保険者代表	web
11	下呂市	保健師	福井 郁子	市町村保健師代表	web
12	本巣市	管理栄養士	藤井 伸会	市町村管理栄養士代表	web
13	恵那保健所	係長	伊佐地るり子	保健所代表	web

### 事務局

	所属	役職	氏名
14	岐阜県健康福祉部	課長	井上 玲子
15	保健医療課	係長	山本 敦弘
16		技術主査	小川 麻里子

## 4 内 容

1) 挨拶（岐阜県健康福祉部保健医療課長 井上玲子）

2) 報告事項「令和4年度の取組状況について」

3) 協議事項「令和5年度の取組方針について」

(1) 普及啓発について

- ・慢性腎臓病（以下、「CKD」とする。）という言葉自体、まだまだ浸透していない。多職種が周りに広めていく活動や、街頭PRなどの市民活動など、より効果的な啓発活動の検討が必要である。
- ・県庁でのライトアップ実施が中止となったことは大変残念。日本腎臓病学会にはシンボルカラーは設定されていないが、糖尿病のように全国一斉での啓発などが実施されているよう、シンボルカラーの設定も含め、日本腎臓病学会へ意見を挙げていく。

(2) 地域におけるCKD診療提供体制について

- ・CKD連携様式により、かかりつけ医からの紹介が増えているように思うが、対応できないほど、増えたという印象ではない。

- ・CKD という疾患に特化した紹介率や逆紹介率を把握することは難しい。診療科としての紹介率・逆紹介率であれば地域連携室での把握は可能であり、一つ指標としてもよい。
- ・コメディカルの力量形成として専門医との事例検討会の開催や、保健所主体の地域連携会議でライフサイクルに応じたCKD連携体制の検討が進んでいる地域もある。
- ・もとす地域は、今年度、モデル地域の選定を契機に、もとす医師会CKD担当理事を中心として、医師、看護師、行政の保健師・管理栄養士等でのCKD勉強会が始まった。顔の見える関係づくり、地域での体制構築が進んでいくことを期待している。

### (3) 多職種・関係機関との連携について

- ・県薬剤師会では、会員への周知として県薬剤師会HPや薬剤師会報で腎臓シールの使い方等の説明を掲載している。モデル地域である各務原市の取組みに注視し、その成果や課題等から県薬剤師会としての対応を考えていく。
- ・糖尿病連携手帳を介した連携、患者への確認を行う薬剤師は少なく、手帳の活用も併せて周知できるとよく、薬剤師会への研修会なども検討いただきたい。
- ・腎臓シールは、患者さんの反応がよく、腎臓病への意識づけにもつながっている。一方で、シールの貼付や説明などの外来での対応が増えている。また、お薬手帳を持参されない患者さんも多く、薬剤師から説明やシール貼付をお願いできるとよい。
- ・職域では、特定健診受診者への対応に留まり、それ以外の対応が十分に実施できていない。取組みが進む市町村との連携も検討したい。
- ・産業医の協力も必要であり、CKD対策への認識や協力の可否等の把握ができるとよい。